

学府だより



向陽学府小中一貫教育だより
第 5 号
令和元年 11 月 28 日

日に日に秋が深まり、暮秋の季節となりました。今回は、向陽中学校区小中一貫教育における教職員の研修や小学6年生と中学生の交流の様子を皆様に紹介します。

第3回向陽学府合同研修会（10/23）

学びづくり部は、「自分の考えを言葉で伝えられる子」の育成を目標とし、対話的・協働的な学びを充実していくことを取組の柱としています。そこで、大藤小学校の提案授業を学府内の教員が参観し、「対話」を深める授業について協議しました。「担任が子どものつぶやきを聞き逃さず、次の問いにつなげていた」「対話の中で反応し合って活発に話し合っていた」「対話することで想像が広がり、思考を深めていくことにつながる」など、さまざまな意見が出されました。さらに、「対話」に向けた各校での取組の成果や課題について話し合い、向陽学府の子どもたちが自分の言葉で伝えられるように、これからも対話を大切にした授業づくりをしていくことを再確認しました。

※対話とは・・・課題やテーマについて考える際、相手の反応を直に感じながら話したり聞いたりというやりとりの中で、様々な考え方や感じ方があることに気づき、相手を理解しつつ自分の考えを広めたり深めたりすること。

【1年 授業参観】



【4年 授業参観】



【5年 授業参観】



コスモス文化発表会参観（11/1）

3小学校の6年生が、向陽中学校のコスモス文化発表会を参観しました。中学校の迫力ある合唱を目の前で聴き、その真剣な中学生の姿に驚いていました。休憩時には、総合的な学習で学んだことをまとめたポスター等を見せていただきました。以下は、子どもたちの感想です。

- ・一人一人が大きく口を開けていて、歌声がひびいていて、とても迫力があってすごいと思った。
- ・曲紹介をするときも、歌うときも気持ちがこもっていて、すごく感動した。
- ・強弱がとてついていた。わたしたちも、これから、中学生みたいに強弱をつけながら、なめらかできれいな声で歌いたい。

- ・自分たちも来年やるんだなと思うと、すごくときどきする。歌うのがとても楽しみ。
- ・いろいろな学習が分かりやすくまとめてあった。いろいろな色を使って絵や写真を入れて、時にはクイズを出して、初めて見た人でも何をどのようにしたのかがよく分かるようになっていた。
- ・2年生の職業体験で、本屋・ペットショップなどがあった。小学校にも中学生が来てくれた。早く中学生になってやってみたい。



【6年生が中学生の合唱を聴く姿】



【中学生が、総合的な学習の時間に学んだことを紹介する姿】

入学説明会での交流 (11/8)

向陽学府では、「つながり」をキーワードとして、さまざまな取組を行っています。小学生と中学生の交流の機会をさらに増やすことで、中学校への入学に対して希望をもてるようにしたいと考え、今年度は、この入学説明会の中で何か交流ができないかと検討していました。教員が考えるだけでなく、子どもたちにも希望を聞いたところ、「中学生に学校生活について教えてもらいたい」という意見が多くありました。そこで、小学校6年生と中学1年生が小グループを作り、中学校の生活について教えてもらうことになりました。

6年生は、少し緊張しながらも、事前に考えてきた質問を中学生にしていました。中学生は丁寧にやさしく教えてくれていました。時間がたつにつれ、6年生にも笑顔が見られるようになりました。その後、2年生の教室の中も案内してもらいました。さらに、全体説明会の中で、生徒代表の英語でのスピーチや生徒会役員による学校生活の紹介もあり、中学校の雰囲気がよく分かりました。その後、部活動も参観することができ、6年生が「中学生になるのが楽しみ」という思いをもつよい機会となりました。

